

共同礼拝

2022年5月15日(日) 午前10時30分

午後2時

司式 牧師 高橋和人

前 奏

招 詞 詩編 29編1b～2節

讃 詠 546

主の祈り

聖 書

詩 編 96編1～3節 (旧934)

コリントの信徒への手紙一 13章8～13節
(新317)

祈 禱

使徒信条

讃 美 歌 54 (1)

説 教 「最も大なるもの」

牧師 姜 徑米

祈 禱

讃 美 歌 195 (1)

献 金

頌 栄 544

祝 禱

黙 禱

5月の祈り

天に昇り全能の父なる神の右に座しておられる主を見上げ、その御心が地に行われるように。

教会総会後の新たな教会の歩みが主に導かれ力づけられるように。

会堂での礼拝と自主礼拝・音声配信による礼拝を守っている兄弟姉妹とが聖霊によって結ばれ、主の体の肢として形成されるように。

戦火が早く止み人々の生活が回復されるように。

弱い立場の人々や子どもたちが守られるように。

今日の祈り

復活の主の御臨在を覚え、主と共に歩むあゆみが力づけられるように。この世に生きる日々にあつて主の恵みを見出し、数えることができるように。

主イエスが御自分を捧げてくださったように心を尽くして礼拝を捧げることができるよう。

弱さを覚え、寂しさと頼りなさを負っている人々に主の御手と慰めが与えられるように。

世界の戦火が一刻も早く終わり平和が与えられるように。

「最も大なるもの」 姜 徑米

コリントの信徒への手紙一 13:8～13

聖霊の最高の賜物は愛であります。愛は、他の賜物とは異なります。そのことが8節以下に語られています。預言、異言、知識の聖霊の賜物と愛は本質的に違うのだということがここに語られています。その違いは、それらの賜物は廃れていくものであるのに、愛は決して滅びないのだということです。

9、10節にありますように、知識や預言という賜物が廃れていくのは、それが「部分的なもの」だからです。「完全なもの」ではないのです。

「廃れていく」というのはどういうことなのでしょう。部分的なものが廃れるのは、完全なものが来た時なのです。キリストの体が完成する時、私たちの救いが完成します。同じように、神の国が来る時には、私たちに与えられている様々な賜物はいらなくなるのです。

愛はなぜ滅びることがないのでしょうか。それを考える上で大事なものは12節の後半です。今は一部しか知らない、それは私たちの知識は部分的なものでしかないということです。しかしその時には、はっきり知ることになる。完全なものが来た時には、全き知識が与えられるのです。しかしそこに、「はっきり知られているように」とあることが大事です。

神様にはっきり、完全に知られているというのは、神様にはっきり、完全に愛されているということです。聖霊が与えて下さる賜物である、滅びることのない愛は、主イエス・キリストにおける神様の愛です。聖霊によって私たちは、この神様の、独り子イエス・キリストにおける滅びることのない完全な愛を知らされるのです。自分が、この完全な愛によって愛されていることを知らされるのです。

神様に愛されていることを知らされた私たちは、自分も神様を知り、愛して生きる者となります。そして神様を愛するなら、神様が愛しておられる人間を、隣人を愛する者となっていきます。それが信仰者になることです。

私たちは部分的であり、不完全なものです。しかし私たちがどれほど不完全で、不十分な者であっても、神様は私たちのことを完全に知っていて下さり、完全な愛をもって愛して下さるのです。だから私たちは安心して、神様を愛し、人を愛していくことができるのです。